

JFA FRISBEE® DOG CHAMPIONSHIPS 2021

OFFICIAL RULE BOOK

日本フリスビードッグ協会
2021 年度 公式ルールブック

2020　年11 月15 日改訂版

ディスタンス競技の基本ルール ①

2020年11月改訂版

●ディスタンス競技の基本ルール

- ジャパンファイナル対象種目においては、選手は、当日受付時及び決勝進出時に配布される「競技用フリスビー」で全て競技を行なう。
  ただし、小型犬などは、JFA公認「ドッグディスクMサイズ」・「スカイドッグソフト190」を使用することもできるが、ラウンド中にディスクの交換をする場合は、ディスクの種類を変えることはできない。
- チャレンジ大会／小型犬大会／こども大会においては、「ファーストバックフリスビー」、「ドッグディスクMサイズ」、「スカイドッグソフト190」、「ヌノスビー」の他、サイズ・材質が違う市販のフライングディスクも使用することが出来る。
- レトリーブ大会においては、「フリスビー」、「ドッグディスクMサイズ」、「スカイドッグソフト190」、「ヌノスビー」の他、サイズ・材質が違う市販のフライングディスクや、「ボール」「おもちゃ」等も使用することが出来る。
- 競技中のディスク交換は、予備ディスクがあらかじめスローイングエリア内の指定場所に入れてある場合に限り、交換することができる。交換用ディスクは受付時に配られたものと同じ競技用でなければならない。但し、決勝時については、予備ディスクはJFA競技用であれば可。
- 交換用の「競技用フリスビー」が必要な場合は、有償で購入する。
- 大会当日に配布される「競技用フリスビー(交換用も含む)」の表面への、マジックインク等でのマーキング（サイン・シール貼付）等は禁止する。
- 選手と犬は、スタートの際はスタートラインの後方で且つ、スタートコーン間の「スローイングエリア」内に入らなければならない。また、選手はこのエリア内からスローを行わなければならない。
- 入退場の際、特別な指示がない限り、コートへの入退場は一方通行とし、本部設置側入口から入り、競技終了後の退場は反対側へ出るものとする。
- 入退場の際、選手又は犬が故意にネット又は横断幕をまたいではならない。
- 選手は、入退場・スタート準備は迅速に行うものとする。
- 競技の開始は、MCの「レディー・ゴー」の合図で行われる。MCが準備完了と判断した時点で開始となる。但し、公式戦に限り、リードを外した段階でMCの間合いでスタートが切られる。この場合、選手の間合いでのスタートにはならない。
- スタートの際、MCの合図より先に犬がスタートラインを超えてスタートしてしまうとファールとなり、そのスローは無効となる。（ディスタンス競技におけるファールの項「ドッグファール」を参照）
- 全ての競技において、犬の4本足がスタートラインを越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビーを持ち帰った段階でポイント獲得とする。
- 全ての競技において、持ち帰ったかどうかの紛らわしい判断については、原則として入ってないと判断する。ただし、選手は、ラインジャッジに確認することが出来る。
  ※ラインジャッジは、選手からの質問があった場合にのみ答える　自ら教えることはない。
- ジャパンファイナル対象種目においては、ポイントの有無にかかわらず、競技犬が戻ってくる際、9mスタートコーンの間からスローイングエリア内に戻らなければ、次のスローは無効となる。
- ジャパンファイナル対象種目においては、スタートコーンの外側よりスローイングエリア内へ戻った場合は、どの位置からでもかまわないので一度犬の4本足全てがインフィールドへ入るように誘導し、再びスタートコーン間よりスローイングエリア内へ戻し直してから次投を行う。但し、例外として場外に出たフリスビーを犬が持ち帰るなど、入退場口を通りスローイングエリアに戻った場合のみ、スタートコーン間の戻し直しの必要なく、そのまま次のスローを有効とする。（次ページ図参照）
- タイム終了合図の前に手から離れたフリスビーは有効である。タイム終了とは、タイマーブザー音の鳴り始めであり、鳴り始めの判断はジャッジが判断する。

●10秒ルール（ディスクがコート外に出た場合）

- ディスクがネットまたは横断幕より外側（コート外）に出てしまい、尚且つコート外において地面に着地、若しくはテントや場外で観戦している選手並びに見学者などを含めて人間にディスクが触れた場合10秒ルールの適用とジャッジが判断をし、タイマーを止める。(競技犬がコート外へ出てキャッチした時点においても10秒ルールを適用する。)
  ※選手・見学者問わず、人間にディスクが触れた場合にも適用されるため、場外に出てきたディスクには故意的に触れない様に注意すること。
- 本部テント並びにタイマー装置/JFA旗/国旗/国旗ポール/スピーカー装置に触れた場合も、10秒ルールを適用する。
- 投手がスローイングしたもの以外（競技犬がディスク/ボールを突くなど）、スローイングエリア後方コート外へのディスク/ボールが出た場合は、10秒ルール適用外とする。
- リスタート前のディスク交換は不可とする。

●ディスタンス競技におけるファール

■ スローが無効となるもの

- **フットフォルト**
  - 競技中に於いてスローの際にスタートラインに触れたり又踏んだ場合、もしくはスタートラインよりはみ出した場合、そのスローは無効となる。
  - 同様にスローイングエリア外からのスローも無効となる。
- **タイムアウト**
  - 競技時間終了後（終了時点でフリスビーが手から離れいる場合は最終キャッチ後）、犬は速やかにスタートラインまで戻らなければならない。その際、犬がスタートライン戻る意志のない行動や、戻る途中での停止があった場合、ジャッジの10カウントが入る。ジャッジの10カウント以内に戻る意思がなく、ポイント獲得エリア内に入らなければ、競技打切とし、最終キャッチは無効となる。なお、カウント開始後に戻る意思があった場合は、カウントを一旦中断するが、再度戻る意思が見られない場合は、カウントを中断した時点から、継続してカウントを行なう。

ディスタンス競技の基本ルール ②

2020 年 11 月改訂版

●ハンドリング

・ポイント確定前に、フリスビーなどに故意に触ると（手・足などを問わず）「ハンドリング」となり、そのスローは無効となる。また、リード使用が認められているカテゴリーでのリード使用時に、ポイント確定前にリードに触った場合も同様とする。

・ディスクと犬の四本足がポイント確定エリア内に入った段階でポイント確定になる。

・必ずしも、犬が咥えて入る場合だけではなく、レトリーブの途中で犬がフリスビーなどを落とした場合(注1)に、投げ手が触れることなくポイント確定エリア内に入り、尚且つ犬の 4 本足が全てポイント確定エリア内に入った段階(注2)でポイント確定となる。

注 1）　フリスビーがポイント確定エリア内に転がって入る、ライン上又は手前で犬が停止しフリスビーのみをスローイングエリア内に落とす、など。

注 2）　フリスビーがポイント確定エリア内に戻っている場合でも、ポイント確定エリア内に犬の 4 本足が全て入り戻る前に投げ手がフリスビーに触れるとファールとなり、そのスローは無効となる。

POINT!

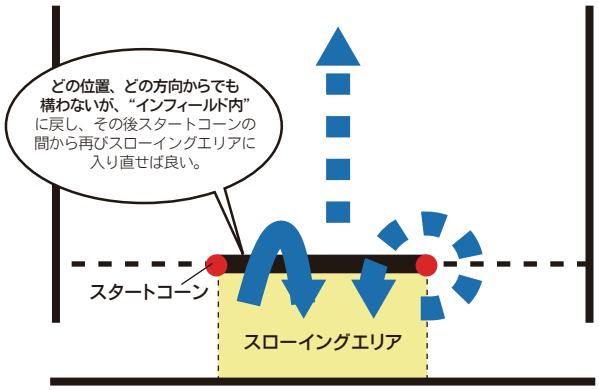
①フリスビーがスローイングエリアに入る
②犬の 4 本足が全てスローイングエリアに入る

この 2 点は必ずしも同時でなければならない、ということではなく、どちらか一方が先に確定し、もう一方が後に確定しても可とする。

全ての競技において、持ち帰ったかどうかの紛らわしい判断については、原則として入ってないと判断する。ただし、選手は、ラインジャッジに確認することが出来る。

※ラインジャッジは、選手からの質問があった場合にのみ答え、自ら教えることはない。

犬がコーン外からスローイングエリアに戻った場合



●ドッグファール

・レディーゴー（競技開始）の合図の前に犬がスタートラインを超えていた場合、そのスローは無効となる。但し、犬を一旦スタートライン内に戻してからのスローは有効となる。

・「公式」競技において、フリスビーが手から離れた時点で犬が明らか に15mラインを超えている場合、 そのスローは無効となる。

・ジャパンファイナル対象種目において、レディーゴー（競技開始）の合図の後、 1 投目に犬がスタートコーンの外側を通りスタートをした場合、そのスローは無効となる。但し、犬を一旦スローイングエリア内に戻し、スタートコーン間より犬が再スタートをした場合のスローは有効となる。

・ジャパンファイナル対象種目において、ポイントの有無にかかわらず、競技犬が戻ってくる際に、スタートコーンの間からスローイングエリア内に戻らなければ、次のスローは無効となる。

※ダブルファール … ポイント確定前にフリスビーなどに触れ、その後犬の四本足がスローイングエリア内に戻らない状態で、次のスローをした場合、前投は「ハンドリング」、次投は「ドッグファール」となり、両方のスローが無効となる。

■ 競技打切となるもの

●場外脱走

・ジャパンファイナル対象種目において、競技中にフリスビーを取りに行く目的以外でコート外に出た場合、ジャッジの10カウントが入る。ジャッジの10カウント以内にコート内に戻らない場合や、同ラウンド 2 回以上の場外脱走があった場合は「場外脱走」とし、その段階で競技打切りとする。
尚、10カウントはジャッジの判断でおこなうこととし、それまでに獲得した得点は有効とする。

・ジャパンファイナル対象種目を除く各種大会においては「場外脱走」は適用せず、1ラウンドの最後までプレー可能とする。但し、脱走した愛犬の確保を優先して行うこと。

●糞尿行為

・ジャパンファイナル対象種目において、競技中に糞尿行為のあった場合は「糞尿行為」として競技打切とする。但し、それまでに獲得した得点は有効とする。（糞尿行為とは、出た・出ないではなく、行為に入った段階とする）

・ジャパンファイナル対象種目を除く各種大会においては、ラウンド中に「糞尿行為」があった場合、行為があった段階でタイマーをストップ。糞尿の処理（コート整備含む）を行った後、行為があった時間から10秒を差し引いてゲーム再開とする。（MCのレディーゴーの合図の後からリスタート）なお、タイマーストップの時点で残り時間が10秒をきっていた場合は、その時点でゲーム終了となる。

■ 使用ディスク違反

●ディスタンス競技において、公認競技用ディスクの使用を義務付けされている競技に関して、指定ディスクを使用しなかった場合は、下記の通り減点する。

公式選手権	違反したラウンドのポイントは“0 ポイント”
ユースオープン	違反したラウンドの最高ポイント 1 投分が無効
シニアドッグ大会	
ペア大会	違反したラウンドの各々の投げ手の最高ポイント合計2投分が無効

ディスタンス競技の基本ルール ③

2020 年 11 月改訂版

■ ゼッケン配布競技について

●受付時にゼッケンが配布された競技は、必ず胸にゼッケンを付けて競技行う。ゼッケン付け忘れの場合、そのラウンドの最高ポイント 1 投が 無効となる。

●採点方法と採点基準

●ライン上・ライン際でのキャッチや、着地と同時のキャッチ等、疑わしいキャッチ状態は、全て選択肢の中で最も低い得点となる。
●ディスタンス競技におけるキャッチとは、ある程度のフリスビー保持の時間を持ってキャッチとみなす。
●あきらかにジャンプをしていて空中にてキャッチを行ったと認められた場合のみジャンピングキャッチとみなす。（高さだけが判断基準ではなく、幅なども含む。）
●キャッチ後、地面につけて咥え直し等、ある程度の保持なくディスクが地面に付いた場合はキャッチとみなされない。
●小型犬（コーギーなど）や大型犬（シェパードなど）のジャンプに対して、犬の体形などから危険防止の為、判断基準が異なる場合もある。

●悪天候時の特別措置

●**公式シリーズ選手権および公式クイーンズ選手権において、第 2 ラウンド進出チーム数が決勝ラウンド進出チーム数に満たなかった場合**
・決勝ラウンドは、規定の獲得得点（公式シリーズ選手権で9ポイント・公式クイーンズ選手権では5ポイント）をクリアできたチームのみで行う。
・規定の得点をクリアできなかったチームは、全チームにて第2ラウンドを行い、ランキングポイント 2 ポイント枠を争う。ポイント枠を逃したチームは、ファイナルポイントは0.5ポイントとする。

●公式レディース選手権/公式小型選手権 不成立時の特別対応 並びに Wヘッダー開催について

●事前エントリーにおいて、公式レディース選手権並びに公式小型選手権成立数に満たなかった場合、特別対応を希望するチームには、公式シリーズ選手権/公式オープン選手権へ出場し、その獲得ポイントを公式レディース選手権もしくは公式小型選手権のランキングポイントとして付与する。
なお、特別対応として公式シリーズ選手権を除き、下記の条件で行う。
・公式レディース …… オープンコート/60秒。
・公　式　小　型 …… チャレンジコート/60秒。
※公式シリーズ選手権に特別対応にて参加の場合は、JFA公式コート60秒ルールにて行う。
●ダブルヘッダーは、公式オープン選手権として行い、 5 チーム以上で成立とする。
●ダブルヘッダーにおいて決勝ラウンドを行わない。
●ダブルヘッダーに於いてもJFA競技用フリスビー（ディスク）を使用して競技を行わなければならない。（小型犬及びチャレンジカップ種目は別参照）
●公式レディース選手権/公式小型選手権の公式戦特別対応（ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む）、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や10×5賞などの各種記録の対象外とする。

第 2 ノミネートは、公式オープン選手権／公式レディース選手権／公式小型選手権での獲得ランキングポイントのみを集計対象とする。尚、公式レディース選手権／公式小型選手権特別対応は、公式オープン選手権参加時（ダブルヘッダーを含む）でのランキングポイントが集計対象となる。

ディスタンス競技の基本ルール ④

2020 年 11 月改訂版

●ディスタンス競技の上位順位決定方法

【公式選手権・ワンラウンドマッチゲーム・ユースオープン】

●決勝進出チームが、決勝ラウンド終了時点で同ポイントであった場合は、下記表の方法において順位を確定する。

公式選手権	優勝～第 2 位	○ 決勝終了時点で獲得ポイントが同じ場合、一度のみ決定戦を行い、決定戦のポイントによって順位を確定する。 ○ 決定戦での獲得ポイントが同点の場合は、高ポイントエリア数（同数の場合はポイント内容）によって順位を確定する。 ○ 上記によって順位が確定できない場合は、予選第 2 ラウンド→予選第 1 ラウンドにさかのぼり、各ラウンド毎の「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。
	第 3 位～第 5 位＋α	○決定戦は行わず、決勝ラウンドの獲得ポイントによって順位を確定する。 ○決勝ラウンドでの獲得ポイントが同点の場合は、高ポイントエリア数（同数の場合はポイント内容）によって順位を確定する。 ○上記によって順位が確定できない場合は、予選第 2 ラウンド→予選第 1 ラウンドにさかのぼり、各ラウンド毎の「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。

※ 全てのラウンドの獲得ポイント、高ポイントエリア数並びにポイント内容が同一な場合は、1 ゲームのキャッチ率によって順位を確定する。なお、上記すべての方法において順位確定が不可能な場合は、じゃんけんによって順位を確定する。
※ 公式戦において、Wヘッダーを含め決勝ラウンドを行わない時に、上位 3 チーム以上が同ポイントとなった場合は、優勝のみを決定する。（2 位以下について同ポイントチームは、同ランキングポイントを配布する。）

ワンラウンドマッチゲーム	優勝～ 3 位＋ α	**【優勝決定について】** ○ 決勝ラウンド終了時点で 1 位タイチームが複数ある場合、一度のみ優勝決定戦を行い、決定戦のポイントによって順位を確定する。（2 チームの場合は 1 ・ 2 位を、 3 チーム以上ある場合は 3 位までを確定する） ○ 優勝決定戦での獲得ポイントが同点の場合は、優勝決定戦 1 投毎のポイントによって順位を確定する。 **【 2 位・3 位決定について】** ○ 決勝ラウンド終了時点で 2 位または 3 位タイが複数ある場合は、決定戦を行わず、決勝ラウンドの 1 投毎のポイントが高いチームを上位とし、 3 位までを確定する。 ○ 上記によって順位が確定できない場合は、決勝→セミファイナルもしくはサブセミファイナルにさかのぼり、各ラウンドの毎の「獲得ポイント」→「 1 投ごとの高ポイント」によって順位を確定する。

※ 上記の決定方法で順位確定できない場合は、1 ゲームのキャッチ率によって順位を確定する。なお、上記すべての方法において順位確定が不可能な場合は、じゃんけんによって順位を確定する。

ユースオープン	優勝～第 5 位＋α	○ 決勝ラウンド終了時点で獲得ポイントが同じ場合、決定戦は行わず、決勝ラウンドの獲得ポイントによって順位を確定する。 ○ 決勝ラウンドでの獲得ポイントが同点の場合は、決勝ラウンドの高ポイントエリア数（同数の場合はポイント内容）によって順位を確定する。 ○上記によって順位が確定できない場合は、予選第 2 ラウンド→予選第 1 ラウンドにさかのぼり、各ラウンド毎の「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。

※ 全てのラウンドの獲得ポイント、高ポイントエリア数並びにポイント内容が同一な場合は、1 ゲームのキャッチ率によって順位を確定する。なお、上記すべての方法において順位確定が不可能な場合は、じゃんけんによって順位を確定する。

【その他の競技】

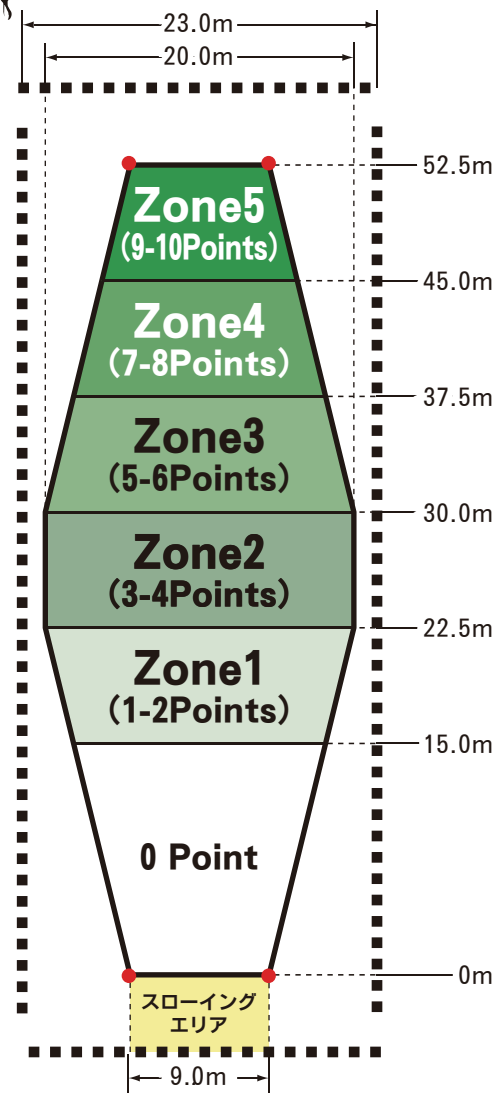
●全ラウンド終了時点で同ポイントであった場合は、下記表の方法において順位を確定する。

ペア大会	優勝～ 3 位	○ 1 ラウンド開催のため、獲得ポイントによって順位を確定する。 ○ 同ポイントの場合は、第 1 投者の「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定。第 1 投者で順位が確定できない場合は、第 2 投者にさかのぼって、「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。 ○ 上記によって順位が確定できない場合は、「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。
その他の競技	優勝～ 3 位	○ 第 1 ・第 2 ラウンドの合計ポイントによって順位を確定する。 ○ 第 1 位から第 3 位までに同ポイントチームがある場合は、予選第 2 ラウンドの「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」により順位を確定する。 ○ 第 2 ラウンドにおいて優劣がつかない場合は、予選第 1 ラウンドにさかのぼって、「獲得ポイント」→「高ポイントエリア数」→「ポイント内容」によって順位を確定する。

※ 全てのラウンドの獲得ポイント、高ポイントエリア数並びにポイント内容が同一な場合は、1 ゲームのキャッチ率によって順位を確定する。なお、上記すべての方法において順位確定が不可能な場合は、じゃんけんによって順位を確定する。

公式コート使用競技 ①

2020年11月改訂版



開催競技

- 公式シリーズ選手権（JFA会員のみ参加可）
- 公式オープン選手権
- 公式クイーンズ選手権
- 公式レディース選手権
- スモールドッグカップ
- 公式小型選手権
- 公式トーナメント選手権
- 【殿堂犬フェスタ】ワンラウンドマッチゲーム（ダブルエリミネーション）

ポイントエリア

スタート～15m未満	0 ポイント
15.0m～22.5m未満	1／2 ポイント
22.5m～30.0m未満	3／4 ポイント
30.0m～37.5m未満	5／6 ポイント
37.5m～45.0m未満	7／8 ポイント
45.0m～52.5m未満	9／10 ポイント
52.5m以上	0 ポイント（場外）

各ポイントエリアにおいての奇数ポイントはランニングポイント。偶数ポイントはジャンピングポイント。すなわち、3-4ポイントエリアにおいてのジャンピングキャッチは、ポイント獲得成立すれば4ポイントとなる。

使用ディスク

- 当日受付時に配布される「競技用フリスビー」に限る。
  ※小型犬のみ、当日受付時配布される「競技用フリスビー」以外、JFA公認「ドッグディスクMサイズ」「スカイドッグソフト190」の使用も可能とするが、その場合は各自で用意もしくは購入のこと。

ダブルヘッダー開催について

- 公式レディース選手権並びに公式小型選手権参加チームは、特別対応として、下記の条件で競技を行う。（公式シリーズ選手権は除く）
  - 公式レディース …… オープンコート/60秒。
  - 公 式 小 型 …… チャレンジコート/60秒

  ※入賞した場合は、公式オープン選手権の入賞対象/入賞履歴として扱う。
  ※公式小型対応は、スタートライン上のルールは公式戦に準じ、ポイントエリアをチャレンジコート同様とする。
- 公式レディース選手権/公式小型選手権 公式戦特別対応（ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む）、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や10×5賞などの各種記録の対象外とする。

共通ルール

- 競技時間60秒。ただし、ワンラウンドマッチゲームは体高・クラスによって規定あり。（各競技のルール参照）
- ワンラウンドマッチゲームを除き、スローイング方向は第1ラウンドと第2ラウンドは逆方向から行う。
- 第1ラウンドのスローイング方向並びに決勝ラウンドのスローイング方向はコイントスにより決定する。
- コート内に入れるのは、選手と競技犬のみとする。
- リードをつけたまま競技を行う事は出来ない。
- 競技に使用するフリスビー（交換用含む）以外、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノを持ち込んではならない。（犬笛は指笛・口笛とみなし可）
- 決勝進出最下位ポイント（いわゆる決勝ボーダーライン）重複の場合は全てのチームが決勝進出とする。
- 犬の4本足がスタートライン（9mコーン間）を越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビーを持ち帰った段階でポイント獲得とする。

公式コート使用競技 ②

2020年11月改訂版

公式シリーズ選手権

- JFA会員とその登録犬のみ参加可。
- 事前申込10チーム以上且つ当日参加チーム数10チーム以上で成立とする
- 事前申込10チームに満たない又は、棄権等で参加チームが当日9チーム以下になった場合は、『公式オープン選手権』として開催する。尚、変更になった場合の返金、預かり証発行等の処理は行わないこととする。
- 予選2ラウンド＋決勝1ラウンドにて行う。決勝ラウンドは、10～14チームの場合は5チーム+α、15チーム以上の場合は7チーム+ αとする。※ポイント表注釈参照
- 予選第1ラウンド9ポイント以上獲得で第2ラウンド進出とする。なお、第1ラウンド9ポイントに満たないチームも第2ラウンドを「トライ・ザ・ゲーム（参考記録）」として競技を行う。ただし、ランキングポイントの付与は0.5ポイントとなる。

公式クイーンズ選手権

- JFA会員（女性）とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 事前申込10チーム以上且つ当日参加チーム数10チーム以上で成立とする。
- 事前申込10チームに満たない又は、棄権等で参加チームが当日9チーム以下になった場合は、『公式レディース選手権』として開催する。尚、変更になった場合の返金、預かり証発行等の処理は行わないこととする。
- 予選2ラウンド＋決勝1ラウンドにて行う。決勝ラウンドは、10～14チームの場合は5チーム+α、15チーム以上の場合は7チーム+ αとする。※ポイント表注釈参照
- 予選第1ラウンド5ポイント以上獲得で第2ラウンド進出とする。なお、第1ラウンド5ポイントに満たないチームも第2ラウンドを「トライ・ザ・ゲーム（参考記録）」として競技を行う。ただし、ランキングポイントの付与は0.5ポイントとなる。

スモールドッグカップ

- JFA会員とその登録犬（体高45cm以下の小型犬）に加え、一般参加も可。
  ただし、小型犬種に属さず、体高45cm以下で初めて参加希望の場合、あらかじめ本部にご確認下さい。
  ※確認のために、各種大会指定種目に出場をしていただく場合があります。
- 事前申込5チーム以上且つ当日参加チーム数5チーム以上で成立とする。
- 事前申込5チームに満たない又は、棄権等で参加チームが当日4チーム以下になった場合は、『公式小型選手権』として開催する。尚、変更になった場合の返金、預かり証発行等の処理は行わないこととする。
- 予選2ラウンド（全チーム進出）＋決勝1ラウンドにて行う。決勝ラウンドは、5～9チームの場合は3チーム＋α。10～14チームの場合は5チーム+α、15チーム以上は7チーム＋α とする。※ポイント表注釈参照

公式オープン選手権

- JFA会員とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 事前参加申込5チーム以上で成立とし、当日4チーム以下になっても行うものとする。ただし、当日の参加数5チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 予選2ラウンド（全チーム進出）＋ 決勝1ラウンド（参加6～10チーム：3チーム+α/11チーム以上：5チーム+α）にて行う。

公式レディース選手権

- JFA会員（女性）とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 事前参加申込5チーム以上で成立とし、当日4チーム以下になっても行うものとする。ただし、当日の参加数5チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 予選2ラウンド（全チーム進出）＋ 決勝1ラウンド（参加6～10チーム：3チーム+α/11チーム以上：5チーム+α）にて行う。

公式小型選手権

- JFA会員とその登録犬（体高45cm以下の小型犬）に加え、一般参加も可。
  ただし、小型犬種に属さず、体高45cm以下で初めて参加希望の場合、あらかじめ本部にご確認下さい。
  ※確認のために、各種大会指定種目に出場をしていただく場合があります。
- 事前参加申込3チーム以上で成立とし、当日2チーム以下になっても行うものとする。ただし、当日の参加数5チーム以下の場合、決勝ラウンドは開催しない。※ポイント表注釈参照
- 予選2ラウンド（全チーム進出）＋ 決勝1ラウンド（参加6～10チーム：3チーム+α/11チーム以上：5チーム+α）にて行う。

公式トーナメント選手権

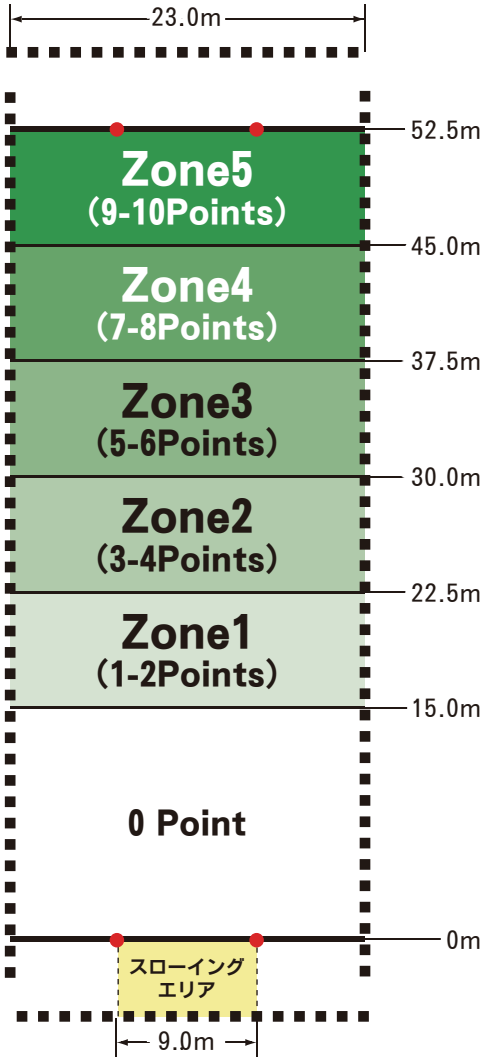
- JFA会員とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 詳細は開催前に発表。

【殿堂犬フェスタ】ワンラウンドマッチゲーム（ダブルエリミネーション）

- JFA会員とその登録犬に加え、一般参加も可。
- 公式オープンクラス60秒、公式レディースクラス70秒、公式小型クラス75秒のハンディキャップ制で開催。
- 通常の公式選手権と違い、下記のとおり「ダブルエリミネーション」制で開催する。
  ①第1ラウンドは、全参加者を抽選により、スローイング方向の違うA・B2つのプールに分けて開催。
  ②第2ラウンドは、各プール上位半数＋αにて「セミファイナル」、それ以外のチームで「サブセミファイナル」を行い、「セミファイナル」上位チームと、「サブセミファイナル」上位チームで、ファイナルラウンドを行う。（ファイナルラウンド進出チーム数は、後述のポイント表参照。）
- 各ラウンドのスローイング方向は、コイントスによって決定する。
- 公式レディース選手権/公式小型選手権 公式戦特別対応（ワンラウンドマッチゲームハンディキャップを含む）、並びにダブルヘッダーにおけるすべてのカテゴリーについて、ハイゲーム賞や10×5賞などの各種記録の対象外とする。
- 決勝進出数は、エントリー数実数にて決定する。10～19チームの場合はセミファイナルから5チーム+α、サブセミファイナルから1チーム+α、20チーム以上の場合は、セミファイナルから6チーム+α、サブセミファイナルから2チーム+αとする。

オープンコート使用競技 ①

2020 年 11 月改訂版



開催競技

・ユースオープン
・シニアドッグ大会（7 歳以上の競技犬対象）
・ペア大会

ポイントエリア

スタート～15m未満	0 ポイント
15.0m～22.5m未満	1 ／ 2 ポイント
22.5m～30.0m未満	3 ／ 4 ポイント
30.0m～37.5m未満	5 ／ 6 ポイント
37.5m～45.0m未満	7 ／ 8 ポイント
45.0m～52.5m未満	9 ／10 ポイント
52.5m以上	0 ポイント（場外）

各ポイントエリアにおいての奇数ポイントはランニングポイント。偶数ポイントはジャンピングポイント。すなわち、3-4ポイントエリアにおいてのジャンピングキャッチは、ポイント獲得成立すれば 4 ポイントとなる。

使用ディスク

- 当日受付時に配布される「競技用フリスビー」に限る。
  ※小型犬のみ、当日受付時配布される「競技用フリスビー」以外、JFA 公認　「ドッグディスクMサイズ」「スカイドッグソフト190」の使用も可能とするが、その場合は各自で用意もしくは購入のこと。
  ※2019年1月より「Jディスク (仮称)」の使用も可能とする。

共通ルール

- 事前又は当日参加申込 1 チーム以上で成立とする。
- ダブルヘッダーは 1 チーム以上で成立とする。
- 競技に使用するフリスビー（交換用含む）以外、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノを持ち込んではならない。（犬笛は指笛・口笛とみなし可）
- リードをつけたまま競技を行う事は出来ない。
- 犬の4本足がスタートライン（9mコーン間）を越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビーを持ち帰った段階でポイント獲得とする。

オープンコート使用競技 ②

2020 年 11 月改訂版

ユースオープン

- 繰り上がりを含むジャパンファイナルグランドチャンピオンシップ、レディースチャンピオンシップ、スモールドッグチャンピオンシップノミネートチーム（第2ノミネート及び最終選考会から進出したチームも含む※）は、ジャパンファイナルには参加できない。
  ※ユース個人戦優勝チームとして進出したチームは除く。
- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。ただし、ジャパンファイナル出場は会員とその登録犬のみとする。（ノミネート確定後の入会および登録は可能とする。）
- スローイング方向は第 1 ラウンドと第 2 ラウンドは逆方向から行う。
- 第 1 ラウンドのスローイング方向並びに決勝ラウンドのスローイング方向はコイントスにより決定する。
- 競技時間60秒。
- 原則として、予選 2 ラウンド（全チーム進出）＋ 決勝 1 ラウンド（参加6〜10チーム：3チーム+α/11チーム以上：5チーム+α）にて行う。ただし、参加チーム数が 5 チーム以下の場合、決勝ラウンドは行わない。
- JAPANFINAL出場の為のポイント集計は1・2ラウンドの合計とする。決勝ラウンドのポイントは含まれない。

シニアドッグ大会

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬（ 7 歳以上）に加え、一般参加も可。ただし、ジャパンファイナル出場は会員とその登録犬のみとする。（ノミネート確定後の入会および登録は可能とする。）
- スローイング方向は第 1 ラウンドと第 2 ラウンドは逆方向から行う。
- 第 1 ラウンドのスローイング方向はコイントスにより決定する。
- 競技時間60秒。
- 全チームでの 2 ラウンド制。

ペア大会

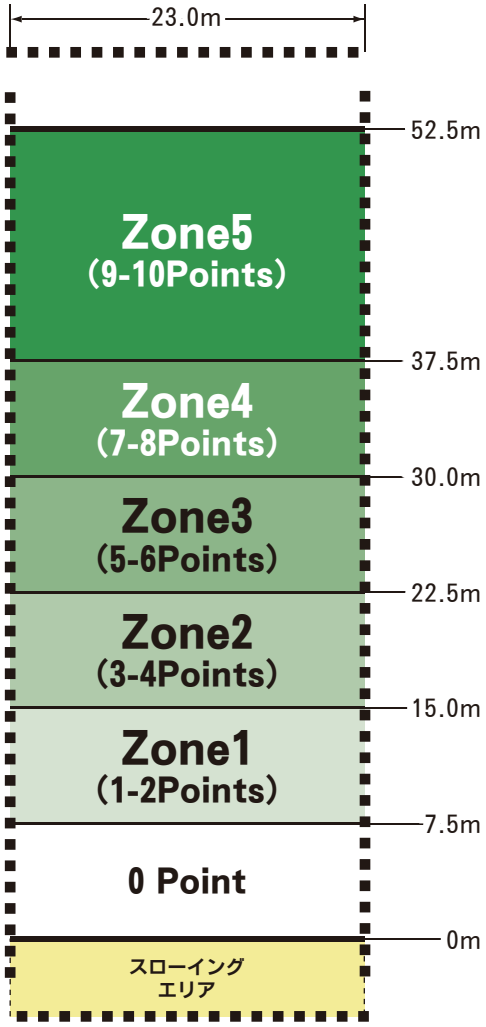
- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。ただし、ジャパンファイナル出場は会員とその登録犬のみとする。（ノミネート確定後の入会および登録は可能とする。）
- 競技時間90秒。
- 全チームでの 1 ラウンド制。
- 原則としてスローイング方向はジャッジ判断で決定する。
- ペアは大人と子供、男女、子供と子供、女性同士とする。
- 子供は小学生以下とする。
- 第 1 投目は、女性もしくは子供から投げなければならない。
- 犬が持ち帰ったディスクは、どちらのプレーヤーが受け取ってもかまわない。

スリーマンオープン大会　※都度変更の可能性あり。

- 当日受付で開催するアトラクション競技。
- 会員・非会員問わず、犬も自己所有犬に限らず参加可能。
- 競技時間 3 分（60秒× 3 名）。
- 3 名 3 頭（3チーム）でチームを組み、フリスビーをバトンとして行うリレー競技。
- 1 ラウンド制で実施。 3 チームの合計獲得得点で順位を決定する。
- スタートライン後方のディスクボックスにフリスビーを入れた段階で次投者が投げることができる。
- 競技中に糞尿行為のあった場合はその段階で失格とならないが、タイマーは止めない。但し、プレイヤーは糞の処理をしてからプレーを続行すること。

チャレンジコート使用競技

2020年11月改訂版



開催競技

・チャレンジ大会
・小型犬大会

ポイントエリア

スタート～7.5m未満	0 ポイント
7.5m～15.0m未満	1 ／ 2 ポイント
15.5m～22.5m未満	3 ／ 4 ポイント
22.5m～30.0m未満	5 ／ 6 ポイント
30.0m～37.5m未満	7 ／ 8 ポイント
37.5m～45.0m（52.5m）未満	9 ／10 ポイント
45.0m（52.5m）以上	0 ポイント（場外）

各ポイントエリアにおいての奇数ポイントはランニングポイント。偶数ポイントはジャンピングポイント。すなわち、3-4ポイントエリアにおいてのジャンピングキャッチは、ポイント獲得成立すれば 4 ポイントとなる。

使用ディスク

- JFA公認「フリスビーディスク（ファーストバックタイプ）」「ドッグディスクMサイズ」「スカイドッグソフト190」「ヌノスビー」の他、サイズや材質の違う手持ちのディスクでも競技可能とするが、各自で用意もしくは購入のこと。
  ※2019年1月より「Jディスク（仮称）」の使用も可能とするが、その場合は各自で用意もしくは購入のこと。

共通ルール

- 事前又は当日参加申込 1 チーム以上で成立とする。
- ダブルヘッダーは 1 チーム以上で成立とする。
- 競技時間60秒。
- 全チームでの 2 ラウンド制。
- スローイング方向は第 1 ラウンドと第 2 ラウンドは逆方向から行う。
- 原則としてスローイング方向はコイントスにより決定する。（ただし、強風時などジャッジ判断で決定する場合もある）
- 犬の4本足がスタートラインを越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビーを持ち帰った段階でポイント獲得とする。
- 選手、競技犬の他に 1 名までスタートライン後方内に限り入ることは出来るが、競技中にスタートラインを超えてポイントエリア方向に入ったり、フリスビーや犬に触れる事は出来ない。但し、競技前・競技後で犬を静止・係留する目的で触れる事は認める。
- リードをつけての競技可能。ただし、脱走や取り押さえがきかない場合のみの使用とし、ポイント確定前にリードに触れた場合（足で踏みつける等の行為も含む）は、そのスローは無効となる。（犬の体や首輪は手を触れてもかまわない）
- 競技に使用するディスク（交換用含む）以外、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノを持ち込んではならない。（犬笛は指笛・口笛とみなし可）

チャレンジ大会

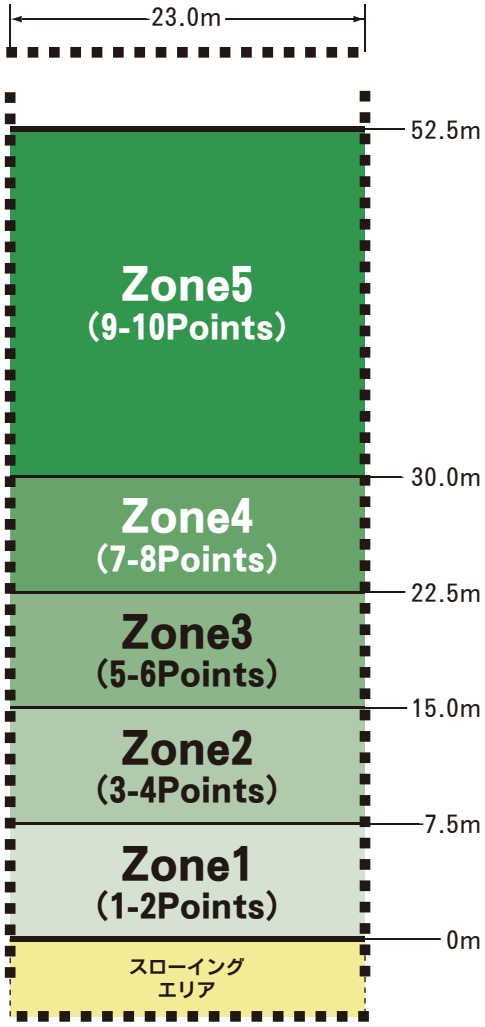
- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。

小型犬大会

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬（体高45cm以下の小型犬）に加え、一般参加も可。
  ただし、小型犬種に属さず、体高45cm以下で初めて参加希望の場合、あらかじめ本部に確認のこと。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。

ビギナーコート使用競技

2020年11月改訂版



開催競技

・レトリーブ大会
・こども大会（小学生以下対象）

ポイントエリア（レトリーブ大会は奇数ポイントのみ）

スタート～7.5m未満	1／2 ポイント
7.5m～15.0m未満	3／4 ポイント
15.5m～22.5m未満	5／6 ポイント
22.5m～30.0m未満	7／8 ポイント
30.0m～45.0m（52.5m）未満	9／10 ポイント
45.0m（52.5m）以上	0 ポイント（場外）

各ポイントエリアにおいての奇数ポイントはランニングポイント。偶数ポイントはジャンピングポイント。すなわち、3-4ポイントエリアにおいてのジャンピングキャッチは、ポイント獲得成立すれば 4 ポイントとなる。

ただし、レトリーブ大会においては、ランニングキャッチ、ジャンピングキャッチの他、地面に落ちたものを持ち帰った場合も、すべて奇数ポイントとする。

使用ディスク

- JFA公認「フリスビーディスク（ファーストバックタイプ）」「ドッグディスクMサイズ」「スカイドッグソフト190」「ヌノスビー」の他、サイズや材質の違う手持ちのディスクでも競技可能とする。
  ※2019年1月より「Jディスク（仮称）」の使用も可能とするが、その場合は各自で用意もしくは購入のこと。
- レトリーブ大会に限り、ディスクに限らずボール・おもちゃ等も使用可能とする。
- 競技に使用するディスク・ボール・おもちゃ等は、各自で用意もしくは購入のこと。

共通ルール

- 事前又は当日参加申込 1 チーム以上で成立とする。
- ダブルヘッダーは 1 チーム以上で成立とする。
- 競技時間60秒。
- 全チームでの 2 ラウンド制。
- スローイング方向は第 1 ラウンドと第 2 ラウンドは逆方向から行う
- 原則としてスローイング方向はコイントスにより決定する。（ただし、強風時などジャッジ判断で決定する場合もある）
- 犬の4本足がスタートラインを越えて、スローイングエリア内にキャッチしたフリスビー等を持ち帰った段階でポイント獲得とする。
- 選手、競技犬の他に 1 名までスタートライン後方内に限り入ることは出来るが、競技中にスタートラインを超えてポイントエリア方向に入ったり、フリスビーや犬に触れる事は出来ない。但し、競技前・競技後で犬を静止・係留する目的で触れる事は認める。
- リードをつけての競技可能。ただし、脱走や取り押さえがきかない場合のみの使用とし、ポイント確定前にリードに触れた場合（足で踏みつける等の行為も含む）は、そのスローは無効となる。（犬の体や首輪は手を触れてもかまわない）
- レトリーブ大会に限り、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノの使用可能。

こども大会

- JFA会員（チャレンジカップ開催年 4 月からの学年が小学 6 年生以下）とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。

レトリーブ大会

- JFA会員とその登録犬および自己所有犬に加え、一般参加も可。
- チャレンジカップ出場資格については開催前に発表。

フリーフライト D-1 MAX ①

2020 年 11 月改訂版

競技ルール

- 4チームで成立とする。ただし、1チームから記録会として開催する。
- 1stラウンド「テクニカルステージ」… 90秒のフリーフライト＋45秒のディスタンス
- 2ndラウンド「フリーステージ」…… 120秒のフリーフライト
- 1stラウンド「テクニカルステージ」、2ndラウンド「フリーステージ」の合計得点により順位を決定する。
- JFA公認フリスビーで競技を行う。但し、小型犬はJFA Mディスク、ソフト190、フリスビー Sサイズ、ヌノスビーの使用可能とする。
- 提携団体のハイパーフライト社のディスクの使用も可能とする。
- ミュージックスタートと同時にタイマースタート。アナウンスは、「30秒前」「15秒前」「終了」のみコールする。
- ジャッジから完全に見えない位置でのプレーは、キャッチの成否が判断できない場合ノーカウントとなる場合がある。
- 同ポイントの際の順位決定は、セカンドステージの得点⇒テクニカルスキルの得点 ⇒ ファーストステージの得点⇒ファーストステージのパーフェクションの得点の順で順位を決定する。
- コート内に入れるのは、選手と競技犬のみとする。
- 競技に使用するフリスビー以外、フード類・玩具類など犬を呼び寄せるモノを持ち込んではならない。（犬笛は指笛・口笛とみなし可）
- 競技中糞尿行為があった場合、処理後競技続行（タイマーは継続）。競技終了後コート整備を行う。
- 脱走行為が見られた場合、タイマーはそのまま継続。コート内に呼び戻し、競技を行う。
- 不測の事態はジャッジ判断でその都度対応する。

1stラウンド「テクニカルステージ」

- フリーフライト（90秒・35点満点）＋ディスタンス（45秒・オープンコート使用）の合計ポイントとする。

【フリーフライト】

- 演技構成の中に指定された規定要素を取り入れ、エリアを広く活用しスムーズにルーティーンを完遂し、またその規定要素の完成度を評価審査する（35点満点）。
- テクニカル／エリアマネージメント／エクスキューションの 3 項目を 2 名のジャッジで審査する。
- 競技時間は90 秒、ディスク使用枚数は 7 枚を上限とする。

★テクニカル（20 点満点）

規定要素	規定数	ポイント	基準	評価
ボルト系	2	2.5	体の一部を確実に蹴って滞空し飛んでいるか。着地の安全性。	5 段階にて評価。上位評価の要素のポイントを規定数で割った平均がポイントとなる。
オーバー系	2	2.5	十分な高さで体の一部を的確に超えているか。着地の安全性。	
フリップ系	3	2.5	回転が十分であるか。飛行姿勢。	
ドッグキャッチ	1	2.5	しっかり犬を保持しているか。ディスクを介してのキャッチは高評価になる。	
トリックスロー	4	2.5	飛距離（15m以上）十分な安定した異なったトリックスロー。違う方向への 3 回以上の連続トリックスローはそれを評価する。	
マルチプル系	1	2.5	ドロップからキャッチの一連の流れが 5 枚連続でテンポ良く且つスピーディーにできているか。	
それ以外の要素		2.5	規定要素以外の要素の難易度と完成度を審査する。	上位 3 つの評価の平均。
オールクリア		2.5	すべての規定要素を完遂した時に加点。	

以上の規定要素を含んだ要素全体を審査する。

- 規定すべてを完遂したときはポイントが加算される。
- 同じトリックの繰り返しは評価が低くなる。
- すべての要素において完成度の極めて高いものや複合技のトリックは最上位評価になる。

ランク	ポイント	評価
S	2.5	完璧 難易度、完成度が高い
A	2.0	優れている
B	1.5	普通
C	1.0	劣る
N	0.0	ノーキャッチ 完遂できず

★エリアマネージメント（5 点満点）

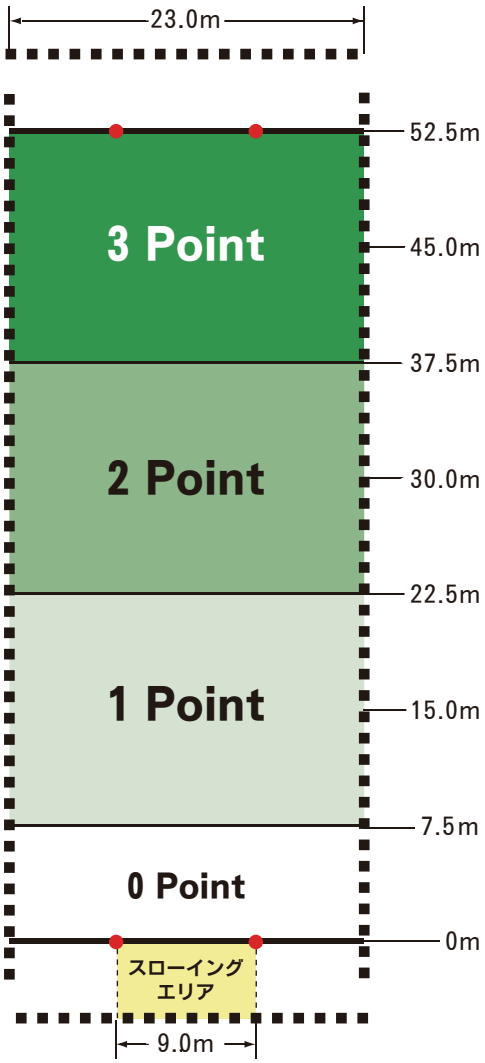
項　目	高評価の基準	評　価
Player（2.0）	プレーヤーの演技がひとつの場所だけにとどまらずスタートポジションを除く 2 か所以上でのポジションの移動をして演技ができている。	基準が満たされていると判断できたものは高評価ポイントとなる。
Dog（3.0）	コートを概ね四分割した中の 3 つ以上のエリアに犬を移動させる幅広い演技ができている。	

★エクスキューション（10 点満点）

- キャッチ数／全投数×10＝エクスキューションポイント

★ディスタンス

- 競技時間は45 秒。コートはオープンコート使用。
- スローイング方向は基本的に向かい風側とする。
- ポイント設定は下記を参照。
- ディスク使用枚数は1 枚。使用ディスクはフリーフライトに準じる。



ポイントエリア

スタート～7.5m未満	0 ポイント
7.5m～22.5m未満	1 ポイント
22.5m～37.5m未満	2 ポイント
37.5m～52.5m未満	3 ポイント
52.5m以上	0 ポイント（場外）

- ジャンプキャッチの設定はない。
- ディスタンスで獲得したポイントを半分にし、全体のポイントに加算する。

2ndラウンド「フリーステージ」

フリーステージは、プレスタイルからフィニッシュスタイルまで、エリアを幅広く活用し、自由な発想と演出でルーティーンを構成し、犬とのコンビネーション、チームトリックの難易度、完成度、独創性のある演技ができているかを評価・審査する。

- フリーフライト（40 点満点）
- 競技時間は120秒、ディスク使用枚数は 7 枚とする。
- 以下の 4 項目を、 2 名のジャッジで審査する。
  - テクニカル（10点満点）
  - チームパフォーマンス（15点満点）
  - エリアマネージメント（ 5 点満点）
  - エクスキューション（10点満点）

▶テクニカル（10点満点／ポイントの高い項目を採点）

項　目		高評価の基準	評　価
ボルト系	(2.5)	各項目のトリックやトス、スローの難易度と完成度が高いと判断できたものを高評価とする。 いくつかの複合したトリックの成功も高評価とする。	各項目 2.5 点を満点とし 5 段階にて評価。 高い評価ポイントの 6 項目の合計がポイントとなる。
オーバー系	(2.5)		
フリップ系	(2.5)		
スロー系	(2.5)		
マルチプル系	(2.5)		
マルチスロー系	(2.5)		
トス系	(2.5)		
ドックキャッチ系	(2.5)		
その他	(2.5)		

▶チームパフォーマンス（15 点満点）

項　目		高評価の基準	評　価
オリジナリティー	(2.5)	他のチームにない独創的で斬新な演技やトリックをプレーの中に取り入れることができている。	各項目 2 . 5 点を満点とし基準を満たしていると判断できたものは高い評価ポイントとする。
バリエーション	(2.5)	同じトリックやスローの繰り返しだけではなく色々な種類の組み合わせで演技構成ができている。	
トランジッション	(2.5)	トリックから次のトリックやスローへのつなぎがスルーやステップワーク等によりスムーズに移行できている。	
デレクション	(2.5)	チームの服装や雰囲気、音楽とプレーとのマッチ、リズミカルな人の動きで演技全体の演出を際だたせている。	
ドッグアビリティ	(2.5)	演技中の犬の集中力、スピード、機敏性、ジャンプの能力を評価する。	
プレ・フィニッシュスタイル	(2.5)	演技の入り方、またプレーの終了を制限時間内にスタイリッシュ及び明確に表現できている。	

▶エリアマネージメント（5 点満点）

項　目		高評価の基準	評　価
Player	(2.0)	プレーヤーの演技がひとつの場所だけとどまらずスタートポジションを除く 2 か所以上でのポジションを移動して演技ができている。	基準を満たしていると判断できたものは高い評価ポイントとする。
Dog	(3.0)	エリアをおおむね 4 つに分割した中の 3 つ以上のエリアに犬を移動させる幅広い演技ができている。	

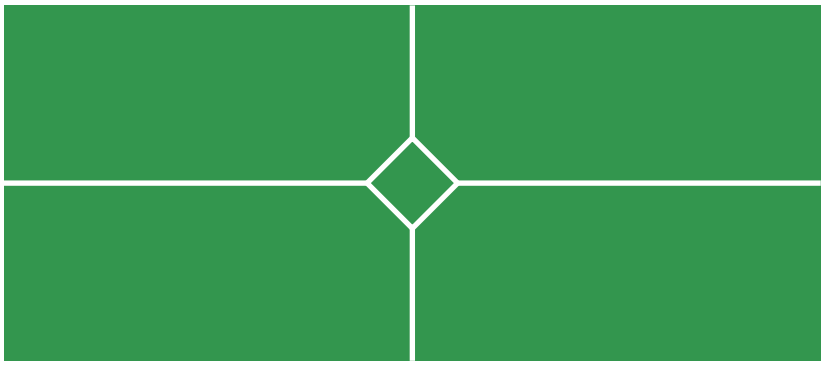
▶減点項目

項　目	高評価の基準	評　　価
ドロップコントロール	予定のタイミングでディスクを的確にドロップやレトリーブできている。	各項目 2 . 5 点を満点とし基準を満たしていると判断できたものは高い評価ポイントとする。
ブレイク	犬が予定にない動きや停止などプレーが中断することなく円滑にプレーを進行できている。	
ディスクコレクション	演技の進行を止めることなく予定通りのスムーズなディスク回収ができている。	
ドッグセキュリティー	ボルトやオーバー等の着地時の犬の体への安定性が保たれている。	
トータルポイント・パーセンテージ	全投数が20 を満たない場合、トータルポイントから20%のポイントを引いた80%のポイントが獲得ポイントとなる。	

★エクスキューション（10 点満点）

● キャッチ数／全投数×10＝エクスキューションポイント

▶エリア分割 下図の通り4 つに分割



▶その他

・競技中糞尿行為があった場合、処理後競技続行（タイマーは継続）。競技終了後コート整備を行う。

・脱走行為が見られた場合は、タイマーはそのまま継続し、コート内に呼び戻し競技を続行する。

※不測の事態はジャッジ判断でその都度対応する。

ジャパンファイナル ノミネート基準 ①

2020 年 11 月改訂版

●グランドチャンピオンシップ

●ジャパンファイナルノミネートについて

ノミネート資格	ノミネート数	備　　考
グランドチャンピオンシップ 第 1 ノミネート	50 チーム	**12 試合以上参加でノミネート対象となる。**（ダブルヘッダーを含む） 50 位が同ポイントだった場合 シリーズポイント上位→優勝回数→ 2 位→ 3 位の数（ダブルヘッダーを含む）により順位決定。
グランドチャンピオンシップ 第 2 ノミネート	7 チーム	**12 試合以上参加でノミネート対象となる。**（ダブルヘッダーを含む） 公式オープン選手権より獲得ポイント上位 7 チーム ※ワンラウンドマッチゲーム / 公式シリーズ選手権 / 殿堂犬フェスタ公式オープン選手権 / スポンサーカップなどを除く公式オープン選手権のみのポイント ※7 位が同ポイントだった場合、第 1 ノミネートにおける 50 位の順位決定方法に準じる。
ユースオープン枠	1 チーム	JAPAN FINAL ユースオープンの部 チャンピオン決定戦個人戦優勝チーム
最 終 選 考 会	2 チーム	上記チームを除いた 51 位～ 120 位で、12 大会以上出場しているチームを対象に開催。 ※最終選考会は、10 チーム以上で成立とする。

● ポイント加算上限大会数
出場基準大会数はなし。

●シーズン途中棄権の繰り上がりを処理をした上でランキング確定とする。（お申出の最終日時は後日発表）

●レディースチャンピオンシップ

●ジャパンファイナルノミネートについて

ノミネート資格	ノミネート数	備　　考
レディースチャンピオンシップ 第 1 ノミネート	35 チーム	**12 試合以上参加でノミネート対象となる。**（ダブルヘッダーを含む） 35 位が同ポイントだった場合 クイーンズポイント上位→優勝回数→ 2 位→ 3 位の数（ダブルヘッダーを含む）により順位決定。
レディースチャンピオンシップ 第 2 ノミネート	3 チーム	**12 試合以上参加でノミネート対象となる。**（ダブルヘッダーを含む） 公式レディース選手権より獲得ポイント上位 3 チーム ※ワンラウンドマッチゲーム / 公式クイーンズ選手権 / 殿堂犬フェスタ公式レディース選手権などを除く公式レディース選手権のみのポイント ※3 位が同ポイントだった場合、第 1 ノミネートにおける 35 位の順位決定方法に準じる。
最 終 選 考 会	2 チーム	上記チームを除いた 36 位～ 80 位で、12 大会以上出場しているチームを対象に開催。 ※最終選考会は、 3 チーム以上で成立とする。

● ポイント加算上限大会数
出場基準大会数はなし。

●シーズン途中棄権の繰り上がりを処理をした上でランキング確定とする。（お申出の最終日時は後日発表）

●スモールドッグチャンピオンシップ

●ジャパンファイナルノミネートについて

ノミネート資格	ノミネート数	備　　考
スモールドッグチャンピオンシップ 第 1 ノミネート	25 チーム	**12 試合以上参加でノミネート対象となる。**（ダブルヘッダーを含む） 25 位が同ポイントだった場合 スモールドッグカップポイント上位→優勝回数→ 2 位→ 3 位の数（ダブルヘッダーを含む）により順位決定。
スモールドッグチャンピオンシップ 第 2 ノミネート	3 チーム	**12 試合以上参加でノミネート対象となる。**（ダブルヘッダーを含む） 公式小型選手権より獲得ポイント上位 3 チーム ※ワンラウンドマッチゲーム / スモールドッグカップ / 殿堂犬フェスタ公式小型選手権などを除く公式小型選手権のみのポイント ※3 位が同ポイントだった場合、第 1 ノミネートにおける 25 位の順位決定方法に準じる。
最 終 選 考 会	2 チーム	上記チームを除いた 26 位～ 80 位で、12 大会以上出場しているチームを対象に開催。 ※最終選考会は、 3 チーム以上で成立とする。

● ポイント加算上限大会数
出場基準大会数はなし。

●シーズン途中棄権の繰り上がりを処理した上でランキング確定とする。（お申出の最終日時は後日発表）

ジャパンファイナル ノミネート基準 ②

2020 年 11 月改訂版

●フリーフライトD－1MAX

●必要基準大会数と競技進行などについて
・ノミネートに関わる必要基準大会数は、5大会以上とする。
・ シーズン中における大会成立数については、開催日のいずれかで、2チーム以上で記録会として成立とする。

●ジャパンファイナルノミネートについて
年間ランキング10位タイまでのチームをジャパンファイナルノミネート対象とする。

●ユースオープンの部・シニアドッグの部・ペアの部 チャンピオンシップ

●ジャパンファイナル出場基準大会数

ノミネート資格	出場基準大会数	備　　考
ユースオープンの部 個人戦	5 大会 （上位 5 大会までは加算方式）	6 大会目以降のポイントの入替システムについて、ご不明な方は本部までお問い合わせください。
シニアドッグの部	5 大会 （上位 8 大会までは加算方式）	9 大会目以降のポイントの入替システムについて、ご不明な方は本部までお問い合わせください。
ペアの部		

※シーズン中の大会成立数は1チームから開催します。

●ジャパンファイナルノミネートについて

種　目　名	ノミネート基準	備　　考
ユースオープンの部 個人戦	出場基準大会数を満たす 全国ランキング 35 位まで	35 位タイまでのチームをノミネート対象とする。
シニアドッグの部	出場基準大会数を満たす 全国ランキング 30 位まで	30 位タイまでのチームをノミネート対象とする。
ペアの部	出場基準大会数を満たす 全国ランキング 15 位まで	15 位タイまでのチームをノミネート対象とする。

●ユースオープンの部については、JAPANFINAL出場の為のポイント集計は1・2ラウンドの合計とする。決勝ラウンドのポイントは含まれない。

※過去 JAPAN FINAL グランドチャンピオンシップ、レディースチャンピオンシップ、スモールドッグチャンピオンシップに出場したことのあるチームは個人戦、団体戦を問わず JAPANFINAL ユースオープンの部には出場できません。（第 2 ノミネート、最終選考会を含みますが、ユース個人戦のチャンピオンから進出したチームは除きます。）尚、グランドチャンピオンシップ、レディースチャンピオンシップ、スモールドッグチャンピオシップのノミネートが確定した時点で、ユースオープンの部出場権利はなくなります。

団体戦につきましては年間 5 大会以上ユースオープン出場チームを対象に県別にチームを組んでいただき、アトラクションゲームとして開催予定です。詳細については JAPANFINAL 開催前に発表いたします。

チャレンジカップ ノミネート基準

2020 年 11 月改訂版

●チャレンジカップノミネート対象種目及びノミネート数

種　　目	ノミネート数
チャレンジ大会	入賞の有無に関わらず、シーズン中 1 大会出場にて チャレンジカップ出場を可能とする。
小型犬大会	
こども大会	
レトリーブ大会	

※ ジャパンファイナルに於けるチャンピオンシップ種目に出場チームは除く。その他詳細は、開催前に発表。

公式シリーズ選手権

順位	参加チーム数							
	～5※1	6～9※1	10※2～14	15～19	20～24	25～34	35～49	50以上
1	4	8	20	23	28	32	35	38
2	2	4	10	13	18	20	25	28
3	2	3	8	9	15	16	20	23
4	1	2	6	7	10	11	17	18
5	1	2	5	6	8	9	14	15
6		1	4	5	7	8	11	14
7		1	3	4	6	7	10	12
8		1	2	3	4	4	5	6
9		1	2	3	4	4	5	6
10			2	3	4	4	5	6
11			2	2	3	4	4	5
12			2	2	3	4	4	5
13			2	2	3	3	4	5
14			2	2	3	3	4	5
15				2	3	3	4	5
16				2	2	3	3	4
17				2	2	3	3	4
18				2	2	3	3	4
19				2	2	3	3	4
20					2	3	3	4
21					2	3	3	3
22					2	2	3	3
23					2	2	3	3
24					2	2	3	3
25						2	3	3
26						2	3	3
27						2	3	3
28						2	2	3
29						2	2	3
30						2	2	3
31						2	2	3
32						2	2	3
33						2	2	3
34						2	2	3
35							2	3
36							2	3
37							2	3
38							2	3
39							2	3
40							2	3
41～							2	2

決勝進出↑

▶成立チーム数は10チーム以上とする。(事前受付及び棄権等で開催日に9チーム以下となった場合は、公式オープン選手権としての開催となる。)

▶ランキングポイントは実数にて適用する。(事前にエントリーしていたチームがケガなどで出場できなくなった場合、出場順番時にスローイングエリア内で選手が棄権の合図を行うことにより試合成立とする。)

▶予選第1ラウンドで9ポイント以上獲得出来なかったチームは0.5ポイントとする(公式レディース・小型選手権特別措置を含む)。

▶決勝進出数は、エントリー実数により決定する。10～14チームの場合は、5+αチームにて決勝ラウンドを行う。公式オープン選手権として開催となった場合は公式オープン選手権ルールに準じて決勝を行う。

▶殿堂犬フェスタ公式オープン選手権及びスポンサーカップのシリーズポイントは、公式シリーズ選手権成立数と同じ10チーム以上の場合に適用する。9チーム以下の場合は公式オープン選手権ランキングポイントとする。

※1 殿堂犬フェスタ公式オープン選手権及びスポンサーカップ開催時、当日を含め10チーム未満たっだ場合に適用。

※2 殿堂犬フェスタ、スポンサーカップ期間中の決勝数は公式オープン選手権ルールに準じる。

公式クイーンズ選手権

順位	参加チーム数					
	～5※1	6～9※1	10※2～14	15～19	20～29	30以上
1	4	8	15	25	30	35
2	2	4	10	15	20	23
3	2	3	8	12	15	18
4	1	2	6	9	10	13
5	1	2	5	8	9	12
6		1	4	7	8	11
7		1	3	6	7	10
8		1	2	3	4	5
9		1	2	3	4	5
10			2	2	4	5
11			2	2	3	4
12			2	2	3	4
13			2	2	3	4
14			2	2	3	3
15				2	3	3
16				2	2	3
17				2	2	3
18				2	2	3
19				2	2	3
20					2	3
21					2	2
22					2	2
23					2	2
24					2	2
25					2	2
26					2	2
27					2	2
28					2	2
29					2	2
30～						2

決勝進出↑

▶成立チーム数は 10 チーム以上とする。(事前受付及び棄権等で開催日に 9 チーム以下となった場合は、公式レディース選手権としての開催となる。)

▶ランキングポイントは実数にて適用する。(事前にエントリーしていたチームがケガなどで出場できなくなった場合、出場順番時にスローイングエリア内で選手が棄権の合図を行うことにより試合成立とする。)

▶予選第 1 ラウンドで 5 ポイント以上獲得出来なかったチームは 0.5 ポイントとする。

▶決勝進出数は、エントリー実数により決定する。10 ～ 14 チームの場合は、5+α チームにて決勝ラウンドを行う。公式レディース選手権として開催となった場合は公式レディース選手権ルールに準じて決勝を行う。

▶殿堂犬フェスタ公式レディース選手権及びスポンサーカップのクイーンズポイントは、公式クイーンズ選手権成立数と同じ 10 チーム以上の場合に適用する。9 チーム以下の場合は公式レディース選手権ランキングポイントとする。

※1 殿堂犬フェスタ公式レディース選手権及びスポンサーカップ開催時、当日を含め 10 チーム未満ただ場合に適用。

※2 殿堂犬フェスタ、スポンサーカップ期間中の決勝数は公式レディース選手権ルールに準じる。

スモールドッグカップ

順位	参加チーム数				
	3〜4※	5〜9	10〜14	15〜19	20以上
1	2	12	15	25	30
2	1	8	10	15	20
3	1	6	8	12	15
4	1	4	6	9	10
5		3	5	8	9
6		2	4	7	8
7		2	3	6	7
8		2	2	3	4
9		2	2	3	4
10			2	2	4
11			2	2	3
12			2	2	3
13			2	2	3
14			2	2	3
15				2	3
16				2	2
17				2	2
18				2	2
19				2	2
20〜					2

決勝進出↑

▶成立チーム数は5チーム以上とする。(事前受付及び棄権等で開催日に4チーム以下となった場合は、公式小型選手権としての開催となる。)

▶ランキングポイントは実数にて適用する。(事前にエントリーしていたチームがケガなどで出場できなくなった場合、出場順番時にスローイングエリア内で選手が棄権の合図を行うことにより試合成立とする。)

▶決勝進出数は、エントリー実数により決定する。5〜9チームの場合は3+αチーム、10〜14チームの場合は、5+αチーム、15チーム以上の場合は7+αチームにて決勝ラウンドを行う。公式小型選手権として開催となった場合は公式小型選手権ルールに準じて決勝を行う。

▶殿堂犬フェスタ公式小型選手権及びスポンサーカップのスモールドッグカップポイントは、スモールドッグカップ成立数と同じ5チーム以上の場合に適用する。4チーム以下の場合は公式小型選手権ランキングポイントとする。

※1 殿堂犬フェスタ公式小型選手権及びスポンサーカップ開催時、当日を含め5チーム未満たっだ場合に適用。

※2 殿堂犬フェスタ、スポンサーカップ期間中の決勝数は公式小型選手権ルールに準じる。

【殿堂犬フェスタ】ワンラウンドマッチゲーム

順位	参加チーム数				
	10～19	20～29	30～39	40～49	50以上
1	25	30	38	40	45
2	13	20	26	28	30
3	11	16	21	23	25
4	9	14	16	18	20
5	8	12	14	16	18
6	7	10	12	14	16
7		8	11	12	14
8		7	10	11	12
+α	5	6	9	10	11

セミファイナル決勝ボーダー下の特別ポイント					
1	4	5	8	9	10
2		5	7	8	8
3			6	8	8
4			6	7	7
5				7	7
6				6	7
7				6	6
8					6
9					6
10					6
上記を除く敗退チーム	3	4	5	5	5

サブセミファイナル決勝ボーダー下の特別ポイント					
1	3	4	5	5	5
2				4	4
3					4
上記を除く敗退チーム	2	2	3	3	3

※ボーダー下の特別ポイントは、通常の選手権ランキングポイント同様の方式で配分。

▶成立チーム数は 10 チーム以上。（事前にエントリーしていたチームがケガなどで出場できなくなった場合、出場順番時にスローイングエリア内で選手が棄権の合図を行うことにより試合成立とする。）

▶ランキングポイントは実数にて適用する。

▶決勝進出数は、エントリー数実数にて決定する。10~19 チームの場合はセミファイナルから 5 チーム＋α、サブセミファイナルから 1 チーム＋α、20 チーム以上の場合は、セミファイナルから 6 チーム＋α、サブセミファイナルから 2 チーム＋α とする。

公式オープン選手権・公式レディース選手権・公式小型選手権

(殿堂犬フェスタ開催中、公式シリーズ選手権ポイント/公式クイーンズ選手権ポイント/スモールドッグカップポイントを付与する。)

順位	参加チーム数										
	3~4★	~5	6~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45以上
1	2	4	8	12	17	20	22	23	25	27	30
2	1	2	4	6	9	11	12	13	15	17	20
3	1	2	3	5	7	9	10	11	12	13	15
4		1	2	3	5	6	7	8	9	10	11
5		1	2	2	4	5	6	7	8	9	10
6			1	1	2	3	3	4	4	4	5
7			1	1	2	3	3	4	4	4	5
8			1	1	2	3	3	3	4	4	5
9			1	1	1	2	3	3	3	4	5
10				1	1	2	3	3	3	4	5
11				1	1	2	2	3	3	3	3
12				1	1	2	2	3	3	3	3
13				1	1	2	2	3	3	3	3
14				1	1	2	2	3	3	3	3
15					1	2	2	3	3	3	3
16					1	1	2	2	3	3	3
17					1	1	2	2	2	3	3
18					1	1	2	2	2	3	3
19					1	1	2	2	2	2	3
20						1	2	2	2	2	3
21						1	1	2	2	2	3
22						1	1	2	2	2	3
23						1	1	2	2	2	2
24						1	1	2	2	2	2
25							1	2	2	2	2
26							1	1	2	2	2
27							1	1	2	2	2
28							1	1	2	2	2
29							1	1	2	2	2
30								1	2	2	2
31								1	1	2	2
32								1	1	2	2
33								1	1	2	2
34								1	1	1	2
35									1	1	2
36									1	1	1
37									1	1	1
38									1	1	1
39									1	1	1
40										1	1
41~										1	1

決勝進出↑

★公式小型選手権のみ適用。

▶成立チーム数は公式オープン選手権び公式レディース選手権は5チーム以上、公式小型選手権は3チーム以上とする。

▶ランキングポイントは実数にて適用する。(事前にエントリーしていたチームがケガなどで出場できなくなった場合、出場順番時にスローイングエリア内で選手が棄権の合図を行うことにより試合成立とする。)

▶決勝進出数は、エントリー実数により決定する。6~10チームの場合は、3+αチーム、11チーム以上の場合は5+αチームとし、5チーム以下場合は決勝ラウンドを行わず、1・2ラウンドで順位を決定する。決勝進出数はエントリー実数にて決定する。

▶競技会当日棄権により6チーム以下の場合は、決勝ラウンドは行わない。1・2ラウンド制にて順位を決定する。この場合、表彰は優勝チームのみとする。

▶殿堂犬フェスタ、スポンサーカップ期間中の決勝数は公式オープン選手権、公式レディース選手権、公式小型選手権ルールに準じる。

▶公式オープン選手権及び公式レディース選手権は棄権で4チーム以下になった場合でも~5のポイントは適用。
公式小型選手権は棄権で2チーム以下になった場合でも、3~4のポイントは適用。ただし、0ポイントの場合は、ランキングポイントは1となる。

競技会参加規定 ①

2020 年 11 月改訂版

●競技会参加にあたっての誓約文

私はフリスビードッグ競技会参加にあたり以下のことを誓約いたします。

1．私は競技会主催者による全ての指示に従う事に同意します。また、この誓約書及び別紙参加規定に同意し、異議申し立て は致しません。
2．私は参加申込締切後に於いてキャンセルの場合、参加費の返金を要求致しません。キャンセルの処理については、別紙（次ページ目キャンセル特別措置を参照）に定める規定に同意致します。
3．私は個人の所有品及び競技用具等の管理に責任を持ち、主催者に対してその紛失・破損等の一切の責任を問いません。
4．私は会場（協会が競技会開催時に借りているエリア）及び競技会中に発生した事故等の責任は自己責任とし、主催者に対し異議申し立てを致しません。
5．競技会参加当日に車を運転する場合、飲酒は致しません。
6．私は気象状態の悪化及び競技環境の不良等により主催者判断による日程の変更、或いは競技内容、競技進行に変更があっても異議を申しません。競技会が成立した場合、参加費の返金を請求しません。又、競技会が不成立になった場合、代替開催とし年度中に行う事とし、その場合参加費の返金を要求致しません。預かり金として競技会にて使用する事に同意します。
7．私は狂犬病及び伝染病予防接種済みの自己所有犬と共に参加出場することを約束致します。
8．私は会場に於ける全ての映像の著作権（肖像権を含む）は主催者が持つこと及び、個人的（本人）に自宅で楽しむ目的以外、不特定多数が見る場所での放映、又は掲載を行わないことを誓約致します。また、この件で第三者より問題が生じた場合、個人的に責任を持つこと、主催者に対し異議申し立てを行わないことを同意致します。
9．本参加会場に於いて主催者はもとより、主催者が許諾したテレビ、雑誌、新聞、ラジオ等の取材素材が放送又は雑誌、新聞等に広報、宣伝等に掲載される事に同意致します。

●競技会お申込みにあたって

1．競技会参加希望の方は『誓約書』及び『競技会参加規定』をご一読・ご了承の上、署名・捺印ください。署名・捺印後、異議申し立ては一切認められません。（WEBエントリーの際は該当欄をチェックしてください。）
2．FAXでお申込みの場合、『誓約書及び競技会申込書』は、自署で無き場合（パソコン等での記入）、必ず捺印してください。『誓約書及び競技会申込書』のご家族以外の代筆は認められません。
3．一日のエントリー数に制限はございません。但し、１エントリーにつき１枚の『誓約書及び競技会申込書』が必要です。参加費につきましてはまとめてお支払いただいて構いません。
4．SKYDOGクーポンカード又はJFA-LIFEマスターカードを利用されない場合、参加費は郵便振込となります。必ず締切日時迄にお振込を完了し、『振込受領書・預り証添付用紙』に振込受領書等を貼って『誓約書及び競技会申込書』と一緒にFAX送信してください。
5．FAXにてお申込の場合、重複や送信漏れがあることがございますので、送信後、必ず締切日時までに電話確認を行ってください。
6．ＷＥＢエントリーの方は、返信メールを必ずご確認ください。
7．締切日時以降のお振込・FAX送信（締切日時迄に協会側で受信を完了していないもの）は、如何なる理由に於いても、全て通常料金となります。事前申込料金をお振込の場合は、競技会当日受付時に通常料金との差額をお支払いいただきます。また、FAX送信後の電話確認が無く、競技会会場でFAXの送信漏れが判明した場合や締切日時以降にFAX漏れが判明した場合も全て通常料金となります。
8．預り証、SKYDOGクーポンカード、各種割引券（無料券）の使用につきましては、締切日時までに使用の意志が確認できない場合、如何なる理由に於いても無効です。競技会当日、該当金額をお支払いただきます。また、一度使用した預り証、SKYDOGクーポンカード、各種割引券（無料券）は如何なる場合（キャンセル等）に於いても、再使用はできません。
9．協会に非の無い過剰入金につきましては、返金（預り証発行処理）は、いたしません。遠方料金等割引が適用となる場合は、十分ご注意の上お振込願います。
10．『誓約書及び競技会申込書』にある【出場順指定】欄はお一人又はご家族で同一種目に複数頭で出場する場合、どちらが先に出場するかを指定するものです。（その競技に何番目に出場したいかを指定するものではありません。）
【出場順指定】の記載が無い場合、自己都合による順番変更は認められません。
※当日会場で本部の判断により出場順を調整することがございます。
11．エントリーナンバー（競技出場順）等の指定は事前・当日に関わらず一切承りません。
12．Visitor（非会員）の方はお申込の際に、「狂犬病予防接種」が証明できるもの（有効期限内の物に限る）をご出場毎にご提出ください。（事前に参加申込をされる際は、必要書類と一緒にFAX送信してください。競技会当日会場で申込をされる場合は、競技会会場に証明できるものをご持参ください。）

●キャンセルについて

1．締切日時を過ぎたキャンセルにつきましては、誓約書記載通り、返金・預り証発行処理は致しません。
2．一度キャンセルの後、同競技会への参加が再び可能となった場合は直接会場へお越しの上、参加手続きの後、参加料金（当日会場でのお申込価格）をお支払下さい。

競技会参加規定 ②

●キャンセル特別措置について

キャンセルの取扱につきましては、上記の通りとなりますが皆様のご負担を考え、JFA会員の方に限り以下のサービスを設けます。但し、年度途中で変更になる可能性もございます。ご了承ください。

《自己都合のキャンセルについて》

①事前エントリー締切日時以降、当該競技会が開催される週の水曜日※**17時00分**までにご連絡のあったものに関しては、お振込金額の90%を預かり金とし、競技会終了後預り証を発行いたします。但し、預り証発行手数料として、500円（税別）を差引いた金額での発行となります。

※競技会が土・日それに付随する祝日に開催される場合、それ以外の場合は、別途日時を定めます。

②SKYDOGエントリークーポンをご利用の場合も原則、後日捺印し、①同様の処理を行います。

※事前エントリー締切日時前のキャンセルにつきましては全額を預かり金とし、競技会終了後預り証を発行いたします。但し、預り証発行手数料として、500円（税別）を差引いた金額での発行となります。

尚、次週以降の参加会場が決定している場合、預り証発行無しでの会場変更を可能といたしますが、一度変更したものについては、２回目以降は預り証を発行いたします。

《発情によるキャンセルについて》

発情犬は通常の競技会には参加できません。

①発情でのキャンセルにつきましては、別途書類が必要となります。書類が確認できない場合、特別措置対象外となります。また、上記対象となるのは発情犬のみです。

②全額を預かり金とし、競技会終了後預り証を発行いたします。但し、預り証発行手数料として、500円（税別）を差引いた金額での発行となります。尚、発情期間終了後の参加会場が決定している場合、預り証発行無しでの会場変更を可能といたします。

SKYDOGエントリークーポンをご利用の場合も原則、後日捺印し同様の処理を行います。

●締切日時以降のエントリーの変更について

《種目不成立の場合(お申込種目が開催されない場合)》

●本部より電話連絡をいたします。他の種目（特別対応含む）、同一開催日の別会場若しくは、次週以降参加が決定している場合は会場を変更いたします。（次週以降の参加が確定していない場合は、預り証を発行いたしますが、発行手数料は不要です。）

《自己都合の場合》

●競技者（家族会員のみ）及び競技犬（登録犬又は自己所有犬のみ）以外変更はできません。同一開催日の他会場、種目、日時、ダブルヘッダーへの変更はできません。

但し、当該競技会が開催される週の水曜日※17時00分までに連絡があったものについては、大会終了後に事前申込分お振込金額の90%を預かり金とし、手数料500円（税別）を差引いた金額で預かり証を発行いたしますので、変更を希望するエントリーは開催日に会場にて改めてお申込みください。

※競技会が土・日それに付随する祝日に開催される場合、それ以外の場合は、別途日時を定めます。

●預かり証使用にあたってのご注意

●預かり証を使用し、連続二度キャンセルした場合、預かり金より没収といたします。

●預かり証は競技参加費以外使用できません。(年会費、物品購入などでの使用不可)

●預かり金額が一度で使用しきれず再度預り証を発行する場合も500円（税別）の預り証発行手数料が必要となります。尚、残金が手数料を下回った場合、預り証の再発行は致しません。

●預り証がお手元に届くには最長２週間ほどかかります。（競技会終了後２週間以上経過してもお手元に届かないときはご連絡ください。）

●競技参加にあたって

1．競技会受付につきましては、極力、競技参加者ご本人若しくはご家族にしていただきますようお願いいたします。

2．公式戦は、誓約書記載通り10カ月齢以上（誕生月から可能）の狂犬病予防接種及び各種伝染病予防接種済みの登録犬※1（Visitorは自己所有犬※2）とご出場ください。

3．ユースオープンは、誓約書記載通り10カ月齢以上（誕生月から可能）　の狂犬病予防接種及び各種伝染病予防接種済みの登録犬又は自己所有犬とご出場ください。

4．ペア・チャレンジ・小型犬・こども・レトリーブ大会は誓約書記載通り６カ月齢以上（誕生月から可能）の狂犬病予防接種及び各種伝染病予防接種済みの登録犬又は自己所有犬とご出場ください。

※１　同一居住地内でご本人若しくはご家族が飼育されているJFA発行の会員証に記載のある自己所有犬。

※２　同一居住地内でご本人若しくはご家族が飼育されている愛犬。

5．自己所有犬（登録犬）以外での競技参加は認められません（アトラクション競技・トレーニングクラスを除く）。自己所有犬(登録犬)以外での出場が発覚した場合、記録・入賞は取消となり、入賞していた場合は、下位チームの繰り上がりとなります。

6．競技用フリスビーは、会場で、有料にて販売いたします。

7．VISITORは公式シリーズ選手権には出場できません。

8．VISITORの公式戦、ユースオープン、シニアドッグ大会、ペア大会のランキングポイントは年度終了まで預かりとし、入会した時点で累積したランキングポイントは有効となります。尚、預かり期間に於いても集計対象といたします。

●会場使用上の注意

いかなる会場に於いても下記事項をお守りください。

1．競技会会場での勧誘・広告・宣伝・個人販売・ＰＲ活動は会員間であっても禁止します。(開催本部が認めたものについてはこの限りではありません。)

競技会参加規定 ③

2．競技中以外競技会会場でのノーリード及びロングリードの使用は厳禁です。会場では、自己責任のできる範囲で愛犬の管理を行ってください。接触事故の原因になりますので、お車又はタープ（テント）内であってもケージにて管理してください。係留は厳禁です。
3．スパイク・パンプス等は禁止です。芝生保護にご協力願います。
4．カメラ撮影は自己所有犬のみ可能です、尚、撮影の際はフラッシュ機能をOFFにしてください。
5．会場に於ける全ての画像・映像の著作権（肖像権を含む）は日本フリスビードッグ協会にありますので、個人的（本人）に自宅で楽しむ目的以外、協会に許可なく不特定多数が見る場所での放映、又は掲載はできません。（YouTube等の動画投稿サイトを含みます。）
6．許可なくコート内外を問わず競技会会場で愛犬を遊ばせたりすることはできません。
7．許可なくコート内外を問わず、競技会会場でフリスビー（ディスク）等を投げることはできません。
8．犬に限らず、人間の通行の妨げになりますので、危険防止のためにも、スペースの取れる会場については、タープ（テント）はコートフラッグより2m以上距離をとって設置してください（固定するためのロープを含む）。
9．会場によっては、本部設営終了後、競技会開催日前日に参加者の皆様が、タープ等を張ることは可能ですが、出場される前日のみとさせていただきます。
☞日曜日のみ参加される方が、金曜日にタープ等を張ることはできません。
10. 競技会会場でのタープ（テント）の場所取り行為は禁止です。
11. 競技会会場駐車場での場所取り行為は禁止です。
12. タープ・テント設置の杭の放置は芝刈機故障の原因となりますので、必ず設置時に使用本数をご確認いただき、片付けの際には全ての本数を回収したことをご確認ください。杭は抜き忘れ防止の為に、カラーテープやインシュロック等で目印を付けて使用してください。
13. お帰りの際は、ゴミ・愛犬の排泄物のお忘れの無いよう、タープ（テント）周辺・駐車場をご確認願います。
14. 会場設置のゴミ箱は使用せず、必ずお持ち帰りの上、処理願います。
15. 会場設置のお手洗いに愛犬の排泄物を流すことの無いよう、必ずお持ち帰りの上、処理願います。
16. 会場施設水道で愛犬を洗う、大量の食べ物カスを流す等排水溝が詰まるようなご利用は、施設利用が難しくなる原因の一つとなっておりますので絶対にしないようお願いいたします。
17. 火気使用可能な会場に於いても、火気使用については、節度を持ったご利用をお願いいたします。調理（バーベキュー）・煮炊きは然るべき施設があるところで行ってください。また、競技会閉会後の火気使用はいかなる会場に於いても許可は得ておりませんので、火気使用はできません。条例等に抵触する恐れがありますので必ずお守り願います。

●車中泊について

1．車中泊会場は、会場をご誘致いただいている方のご厚意により確保していただいております。会場誘致に支障を来すことの無いよう、車中泊をされる方は、泊まることのみを目的とし、モラル・マナーを遵守願います。
2．「道の駅」等、公共の場所をご利用の際は、各自の責任に於いて施設や近隣にご配慮いただき、くれぐれもトラブルの無いようお願いいたします。
3．ゴミ袋等のテント周りや車外への放置は烏・小動物・野犬等が袋を破りゴミ等が散乱する原因となります。必ずタープ内若しくは車内にて管理願います。
4．車周りにゴミ、愛犬の排泄物の置忘れの無いよう周囲をご確認の上ご退場ください。

開催競技一覧

	競技名		参加資格及び月齢		コート	リード	付添い	玩具等	使用ディスク
公式競技	ジャパンファイナル対象	公式シリーズ選手権	非会員は参加不可	10ヵ月以上※4	公式	×	×	×	・指定の競技用フリスビー ・ドッグディスクMサイズ※1 ・スカイドッグソフト190※1
		公式オープン選手権	JFA会員とその登録犬と、非会員は自己所有犬と参加可能 ただし、ジャパンファイナル出場時までに登録が必要。(ノミネート決定後の登録も可)						
		公式トーナメント選手権							
		公式クイーンズ選手権							
		公式レディース選手権							
		公式小型選手権							
		フリーフライト D-1 MAX			フリー				15ページ参照
殿堂犬		ワンラウンドマッチゲーム			公式				・指定の競技用フリスビー ・ドッグディスクMサイズ※1 ・スカイドッグソフト190※1 ・Jディスク(仮称)
各種大会		ユースオープン	会員・非会員を問わず自己所有犬と参加可能 ただし、ジャパンファイナル出場時までに登録が必要。(ノミネート決定後の登録も可)	10ヵ月以上※4	オープン				
		シニアドッグ大会		満7歳以上					
		ペア大会		6ヵ月以上※4					
	チャレンジカップ対象	チャレンジ大会	会員・非会員を問わず自己所有犬と参加可能	6ヵ月以上※3	チャレンジ	○	○	×	・ファーストバックフリスビー ・ドッグディスクMサイズ ・スカイドッグソフト190 ・ヌノスビー ・材質、サイズ違いのディスク ・Jディスク(仮称) ・ボール/おもちゃ等※2 ・トライアルボール※2
		小型犬大会				○	○	×	
		こども大会			ビギナー	○	○	×	
		レトリーブ大会				○	○	○	
アトラクション	トライアルボールドッグゲーム		会員・非会員を問わず自己所有犬以外の犬との参加も可能						
	スリーマンオープン大会								
	パフォーマンスフリー								
	ロングディスタンス記録会								

※1　小型犬のみ
※2　レトリーブ大会のみ
※3　誕生月より参加可能

2020年11月改訂版